



大阪支部発表

令和7年6月 3日(水)

担当・照会先	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪支部長 藤巻 靖士 【担当】高齢・障害者業務課長 中川 尚久 【電話】06-7664-0782
--------	--

報道関係者各位

アビリンピックおおさか2025を開催します

～令和7年度大阪障害者技能競技大会のご案内～

当機構では、障害者が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的として、昭和47年から障害者技能競技大会(アビリンピック)を開催しております。

令和7年度におきましても、障害のある方々の一層の活躍促進に向けて、本大会を下記のとおり開催いたします。

報道各社におかれましては、選手の熱戦の様子を多くの方に届けていただきたく、ご案内申し上げます。なお、取材いただける場合は、大会日程のそれぞれ前日 17:00 までに上記担当・照会先(大会事務局)までお申込みいただきますようお願いいたします。

<大会概要>

日程	会場	技能競技種目	参加選手数
令和7年 6月21日(土)	社会福祉法人日本ライトハウス 視覚障害リハビリテーションセンター 〈大阪市鶴見区今津中 2-4-37〉	パソコン操作	4名
		DTP	9名
	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪支部 ポリテクセンター関西 〈摂津市三島 1-2-1〉	ホームページ	3名
		製品パッキング	18名
		販売・物流アシスト	5名
		喫茶サービス	17名
		表計算	10名
令和7年 7月5日(土)	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪支部 ポリテクセンター関西 〈摂津市三島 1-2-1〉	パソコンデータ入力	26名
		ワード・プロセッサ	17名
		ビルクリーニング	24名
		オフィスアシスタント	30名
令和7年 7月16日(水)	大阪府立労働センター(エル・おおさか) 南ホール〈大阪市中央区北浜東 3-14〉	表彰式	

<後援>

大阪労働局／大阪府／摂津市／一般社団法人大阪府雇用開発協会／大阪府教育委員会

<アビリンピックおおさか2025大会ホームページ>

<https://www.jeed.go.jp/location/shibu/osaka/abilin-osaka.html>

～アビリンピックおおさか2025大会実施競技～

競技名・参加選手数	競技概要や見どころ等
パソコン操作 (4名)	参加選手は、全員視覚障害のある選手で、画面の文字を音声化する読み上げソフトや、画像を大きくする拡張ソフトを利用しながら、キー入力によってパソコンを操作、「Microsoft Excel」や「Microsoft PowerPoint」を使用したデータ処理を行います。
DTP (9名)	DTP とは、書籍や新聞、広告などの印刷物の原稿作成や編集、デザイン、レイアウト、組版などの作業をコンピュータで行い、最終的に印刷可能な原稿を作成する作業のことです。プランニングする力や、想像力に加え、メインタイトルやサブコピー、色彩やレイアウト、フォントや印刷特性などオールマイティな知識が求められます。
ホームページ (3名)	指定された課題テーマのホームページを作成します。仕様の内容を正しく理解した上で、高度な技術を最大限に生かして、決められた時間内で作業を行います。 ホームページ作成に関する技術に加えて、独創性、芸術性、ユーザビリティやアクセシビリティに関する知識と実践力も必要です。
製品パッキング (18名)	パッキングとは、荷造り・包装のことをいいます。物流行程のひとつとして、必要不可欠な化粧箱と梱包緩衝材の組み立て、組み込み商品の包装・梱包作業を行い、より早くより正確な仕上がりを競います。
販売・物流アシスト (5名)※	販売促進や物流サービスで行う仕事を上司の指示に従って作業する競技です。 決められた手順で正確な作業ができることと、作業中でも来客時の挨拶がしっかりできることがポイントです。大阪大会の独自競技として実施します。
喫茶サービス (17名)	模擬的に設置された喫茶店で、お客様に対して他の従業員と連携・協力しながら、お客様の立場に立って正確、かつ、スムーズにサービスを提供する技能を競います。 一連の接客業務が正確かつスムーズにできるか、そして、お客様の立場に立って満足していただけるようサービスを行うことができるかがポイントです。
表計算 (10名)	表計算ソフトの「Microsoft Excel」を使用し、Excel の三大機能である、表計算機能、簡易データベース機能、グラフ作成機能の総合的なスキルを競います。 限られた時間内で、いかに正確に、いかに効率良く表やグラフの作成・編集などを行えるかがポイントになります。
パソコンデータ入力 (26名)	多量なデータの入力、入力データの修正、帳票作成の 3 つの課題を通して、データの入力・修正等の速さと正確さを競います。 選手たちの集中力や持久力、そして正確なタッチタイピングの技能がポイントです。
ワード・プロセッサ (17名)	「Microsoft Word」を使用し、課題として与えられた和文・英文の文書と同じものを作成します。限られた時間内で Word の各種機能をいかに自在に使いこなせるか、その技能を競います。文字入力のスピードと正確性はもちろん、ページ設定や作図、表作成などさまざまな文書作成スキルを駆使できるかがポイントです。
ビルクリーニング (24名)	会場内に設けた模擬オフィスにおいて、清掃作業の迅速さや正確さを競います。 作業の効率性や掃除機などの資機材の取扱い、拭きムラや掃き残しが無い確実な清掃技術が競技のポイントです。
オフィスアシスタント (30名)	オフィスアシスタントは会社から出す大切な書類の郵送準備や、会社に届いた郵便の仕分けを想定した競技です。 正確さとスピードの両方が求められるとともに、各々の工夫が光る競技となります。

※アビリンピックおおさかで優秀な成績をおさめた選手は、大阪府代表として全国障害者技能競技大会(全国大会)に出場します(令和6年度の全国大会では、大阪府代表から、DTP 及びオフィスアシスタント競技において銅賞2名の入賞を果たしています)。

※販売・物流アシスト競技は大阪独自競技のため全国大会はありません。